

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童支援事業所ぶらみんぽーと		
○保護者評価実施期間	令和7年12月4日		～ 令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和7年12月4日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年6月1日		～ 令和7年12月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	16施設	(回答数) 3施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性を活かした支援	各専門職が専門性を活かした支援を行っている	お子さんの発達状況や訪問先施設での課題に合わせ、複数の専門職が連携して訪問する機会を増やしていく
2	きめ細やかな支援	対象となるお子さんの指導担当者が訪問している	ニーズの変化にも対応できるよう、お子さん、保護者、訪問先施設との連携を密にしていく
3	丁寧なフィードバック	行動観察の後、訪問先施設の職員とカンファレンスを行い、その内容を報告書にまとめ、保護者に直接説明している	専門性を高め、充実したカンファレンス、よりわかりやすい報告書となるよう、保育所等訪問支援に関する研修の機会をを設ける

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先への説明不足	訪問の目的に関して、書面での説明が十分ではない	「保育所等訪問支援計画」また「報告書」の共有を図り、訪問の目的やお子さんに合った支援の方法を伝えられるように、情報共有、伝達のあり方を検討していく
2	利用できる対象児が限定されている	保育所等訪問支援専従の職員がいない	保育所等訪問支援を希望する保護者は多く、そのニーズに応じられるよう、職員体制を検討していく
3	訪問支援員への支援体制	「保育所等訪問支援」を主とした研修の不足	訪問支援員向けの研修実施や事例検討を通じた意見交換など、訪問支援員同士が情報共有しやすい体制を整えていく